

## 神戸市、アフリカの都市開発支援へ

### マラウイ国都市計画・開発管理プロジェクト支援、本格始動

一般財団法人神戸すまいまちづくり公社及び神戸市は、昨年度 8 月から国土交通省及び独立行政法人国際協力機構（JICA）の要請を受け、「マラウイ国リロングウェ市都市計画・開発管理にかかる人材強化プロジェクト」調査団へ専門家を派遣するなど技術協力に取り組んできましたが、この度同プロジェクト支援に本格化に乗り出しました。

同プロジェクトは、リロングウェ市が 2010 年に同じく JICA の支援を受け策定した「都市開発マスタープラン 2030」の実施に向け、同市の組織・人材の能力向上を図るため、技術協力を要請し、昨年度初頭から JICA 及び国交省が進めていた実施計画詳細調査の結果、11 月末より開始されたものであります。調査段階から参画したまちづくり公社の調整により、これまでのインドネシアやベトナムにおける海外インフラ支援の経験を活用し、総合的なまちづくりの観点から分野横断型の支援・協力を実施することになりました。

具体的には、9 月上旬に国土交通省及び JICA の協力・参画を得て、庁内関係部長及び同公社職員等による「マラウイ国プロジェクト国内支援推進協議会」（委員長：同公社常務理事：安田丑作神戸大学名誉教授）を設置、同月中旬から 10 月上旬まで約 1 ヶ月間に渡り、協議会メンバーを専門家としてマラウイ国へ派遣しました。現在、JICA が既に派遣している民間コンサルタントチームに合流し、マスタープランを受けた詳細土地利用計画や開発技術基準・ガイドラインの作成準備に入っています。

派遣職員	専門分野（JICA 専門名称）	派遣元（所属）
濱田圭吾	都市経営管理アドバイザー	神戸すまいまちづくり公社
花田基樹	土地利用・住宅開発アドバイザー	株OM こうべ
田中宗博	交通計画アドバイザー	神戸すまいまちづくり公社
濱口哲男	上水・排水・衛生アドバイザー	

今後 12 月には、約 2 週間の日本研修を予定しており、リロングウェ市及び土地・住宅開発省等の職員を受け入れ、支援協議会メンバー等による講義や施設視察などを実施します。また、来年 2 月頃より、数度に渡り 2 週間～1 ヶ月間（延べ日数約 380 人・日）の職員の現地派遣を予定しています。



プロジェクト合同調整委員会（リロングウェ市役所）



非計画区域の現場調査

## 「マラウイ国リロングウェ市都市計画・開発管理にかかる人材強化プロジェクト」の概要

国土交通省および地方自治体等が専門家を派遣する JICA 技術協力プロジェクトとしては、近年、その必要性が高まりつつあり、地方自治体が本格的に複数の分野に跨って協力をを行う数少ない分野横断型都市開発案件です。また、社会・生活環境の厳しいアフリカ地域における都市計画・都市開発分野への政府・行政関係専門家投入は初めての試みです。

マラウイ国は、アフリカ東南内陸部に位置する農業国で、近年人口増加及びその都市流入により、首都リロングウェ市は急速な膨張を続けており、交通渋滞、生活環境等の都市問題が顕在化しつつあります。JICA が 2010 年にリロングウェ市都市計画マスタープランの策定を支援し、マラウイ国政府の要請により、日本政府は引き続き、2012 年より都市計画・開発管理人材育成プロジェクトに着手し、JICA 及び国土交通省から要請を受け、公社から専門家を派遣しています。

- ・ マラウイ共和国 Republic of Malawi 独立：1964 年（旧英国植民地）
- ・ 面積：11.8 万 km<sup>2</sup> 人口：1,500 万人
- ・ GDP（2008 年）：113 億ドル（143 位） 一人当たり GDP：834 ドル
- ・ 首都：リロングウェ市

(1) プロジェクト期間 平成 24 年 8 月（プロジェクト詳細実施調査）～平成 27 年 3 月

(2) 支援活動内容

- ① 都市構造計画の改訂支援・研修
- ② 土地利用詳細計画 1/5,000 - 1/10,000（モデル地区）の策定支援・研修
- ③ 都市開発基準及びガイドラインの作成支援・研修
- ④ 本邦研修「都市計画・開発管理」の実施（神戸市）

(3) 専門家投入計画（神戸市チーム）

- ① 都市経営管理専門家／チームリーダー
- ② 土地利用・住宅開発専門家
- ③ 交通計画専門家
- ④ 都市施設（上水／排水／廃棄物）専門家
- ⑤ 都市基盤整備（パイロットプロジェクト）専門家

